

2026年7月16日
株式会社岩手銀行

こどもとともに成長する企業構想 こどもまんなかりーディングバンク
「いわて親子応援企業共創プロジェクト」への取組みについて
～そだてるわ、つながるわ、岩手のわ～

岩手銀行（頭取 岩山 徹）は、グループ会社の manorda いわて株式会社と共同で、「いわて親子応援企業共創プロジェクト」に取り組めます。

本取組みは、少子化や人口減少、子育て家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、政府が進める「こどもまんなか社会※」の実現に向けて、子育て世帯が日頃感じている困りごとや必要としている支援を把握し、その内容を地域企業の職場環境づくりや仕事と育児の両立支援につなげることで、子どもと保護者を地域全体で支える仕組みづくりを目指すものです。

※こどもまんなか社会：こどもや若者の視点に立ち、こどもにとって最善の利益を第一に考え、健やかな成長を社会全体で支えることを目指す考え方

記

1. 取組みの背景・目的

- (1) 少子化や人口減少は、地域企業の人材確保や地域経済の持続性に関わる重要な課題です。加えて、働き方の多様化や核家族化、地域とのつながりの希薄化、物価上昇などを背景に、子育て家庭を取り巻く環境は複雑になっています。
- (2) こうしたなか、保護者の心理的・身体的な負担、経済的な負担が増しているほか、土日・休日・長期休暇中や、子どもの体調不良時における預け先の確保、子どもの居場所や体験機会の不足など、さまざまな課題が生じています。
- (3) 岩手銀行は、子ども・子育て支援を、単なる社会貢献活動としてではなく、地域の将来や地域企業の持続的な成長にも関わる重要なテーマと捉えています。第22次中期経営計画に掲げる職員のウェルビーイング向上、DE&Iの推進、仕事と家庭の両立支援の考え方も踏まえ、行内の取組みと地域企業への支援をあわせて進めてまいります。

2. 取組みの概要

本プロジェクトでは、次の3つを柱として岩手銀行と manorda いわて株式会社が共同で取組みを進めます。

- (1) 経営層による発信

子ども・子育て支援を経営上の重要なテーマとして位置づけ、経営陣自らがその重要性を発信します。これにより、子ども・子育て支援を一時的な取組みにとどめることなく、地域企業の成長や地域づくりにもつながる重要なテーマとして広げてまいります。

(2) 行内の業務改革と職場環境の整備

男性育休取得率 100%を目指した制度設計、仕事と育児の両立に関する面談、セミナー、管理職向け研修などを通じて、育児の有無にかかわらず働きやすい職場環境づくりを進めます。あわせて、地域の実情も踏まえながら福利厚生制度の充実も図ってまいります。

(3) 地域企業への支援

親子向けイベント、保護者アンケート、関係者へのヒアリングなどを通じて把握したニーズをもとに、地域企業の業務改善や経営課題の解決につながる支援を検討します。

たとえば、従業員の仕事と育児の両立支援、福利厚生制度の見直し、採用や定着につながる職場環境の改善などについて、各社の状況に応じた支援を行ってまいります。

3. 今後の展開

今後は、岩手銀行と manorda いわて株式会社が連携し、各取組みを通じて把握した地域の課題や支援ニーズを整理したうえで、企業・地域団体・行政・支援機関などと連携しながら、次の具体的な取組みを進めてまいります。

(1) 子育て世帯のニーズ把握

親子向けイベントの開催、保護者アンケートの実施、子育て支援関係者へのヒアリングを通じて、子育て家庭が抱える困りごとや必要な支援を継続的に把握します。

(2) 地域企業向け支援メニューの具体化

把握したニーズをもとに、両立支援制度の整備、柔軟な働き方の導入、福利厚生の見直し、管理職研修、採用・定着支援など、地域企業に対する具体的な支援メニューを整理・提案します。

(3) 実証的な取組みの実施

地域企業と連携し、子育てと仕事の両立支援に関するモデル的な取組みや職場環境改善の実証を進め、その効果や課題を検証します。

(4) 地域内での連携強化と横展開

行政、地域団体、支援機関等との連携体制を構築するとともに、本プロジェクトで得られた知見や事例を県内企業へ共有し、県内の他地域にも広げられる仕組みづくりにつなげてまいります。

4. 「こどもまんなかリーディングバンク発表会」



【本件に関するお問い合わせ先】

地域貢献部 下館、大沢 電話：019－623－1111（代表）